

本時のねらい

1学期の支援学級での学習活動をふりかえり、タブレットを使って新聞にまとめることができる

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・タブレットを活用し、1学期の行事や授業で楽しかったことを新聞にまとめる
- ・やり直すことに強い抵抗がある児童も、タブレットの操作性の手軽さによって何度も練り直すことをねらった
- ・活動の様子がよくわかる写真を選ぶことで、そのときの様子を振り返り、2学期の学校生活の意欲につながることをねらった

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・大型モニター
- ・Google Meet
- ・Google クラズルーム
- ・ページレイアウトアプリケーション Pages

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○教員から送られたテンプレートを受信し、自身のタブレット端末に保存する ○1学期の活動の写真を見て、振り返る ○本日のめあてを確認する <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ひまわり紹介のための新聞づくりをしよう</p>	<p>クラズルームで Pages のテンプレートを送信し、新聞づくりの見通しをもたせることができる</p> <p>今までの写真を大型モニターで映しながら、全員で行事や学習したことを思い出させる</p>
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○紹介したい活動を決める ○活動の写真を貼り付ける ・1学期に撮っていた写真から、自分が紹介したい活動を選ぶ ・アップの写真とルーズの写真に加工し、様子がよくわかるようにする ○活動の様子について文章を打ち込む ・写真の説明（キャプション）、活動の様子を記入する ○記事の題名をつける 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの保存している写真を何度も選び直すことができるので、よりよい写真を使って作成することができる ・クラズルームを介して写真を共有することで、友達の写真や教員の写真から選んでもよいようにする ・作成途中の新聞をモニターに映し、分かりやすいか確認する
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○記事を提出する ○次回予告をする Meet を使って、交流学級で発表する 	<p>記事の構成が変わらないように PDF ファイルに変換する（書き出し→PDF）</p> <p>交流学級が複数あるが、同時に発表する</p>

1人1台端末を活用した活動の様子

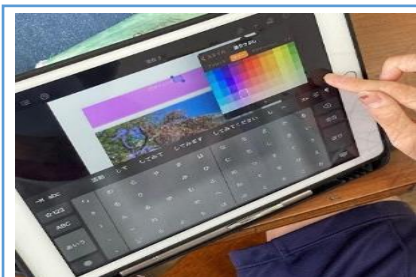


写真1：教員から送られたテンプレートを自身のタブレットに保存し、色をつけている様子

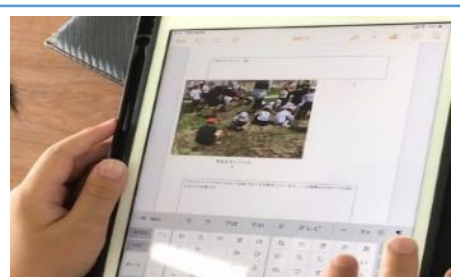


写真2：写真を貼り付け、キャプション、くわしい説明、題名を書いている様子



写真3：完成した Pages をそれぞれのタブレットで見ている様子

児童生徒の反応や変容

簡単なフォーマットにしていたが、児童からもっと付け足したいという意見があった。写真の場所や記事の大きさを変え、自分なりの新聞が完成したことで達成感を味わうことができた。

やり直すことに抵抗がある児童が、タブレットでの新聞づくりだと意欲をもって編集作業に取り組むことができた。

自分から字の色を変えたいとしたり、写真のレイアウトを試行錯誤したりして、読み手が読みやすい工夫をした新聞を作り上げることができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

画面いっぱいには拡大して作ることができるため、細かい作業が苦手な児童も積極的に操作してみようという姿勢が見られた。上手にできるための試行錯誤の一つとして意欲的に取り組んでいた。

Meet を使い複数クラスへ同時に発表をするため、一回の発表に集中して取り組むことができる。